

令和 4 年度

事務事業評価表 (令和 3 年度 の実績評価)

記入年月日	令和 4 年 4 月 1 日
-------	----------------

事務事業名	山桜景観鑑賞施設検討事業				事業区分		担当	
	政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助	新規 単独	事務事業No.	040304001077
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興			所属課			
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり			025101			
	施策名	03 観光の振興			課長名			
	手段名	04 ④ヤマザクラを生かした観光振興			ヤマザクラグループ 担当者名			
予算科目	財務会計上の位置付け				事業期間			
	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業	
法令根拠							期間限定複数年 (令和2年度～令和3年度)	
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手 段	① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)						② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順					
	桜川市は、古くから「西の吉野、東の桜川」と並び称されたヤマザクラの里である。現在、山々に自生するヤマザクラは55万本とも言われ、まさに、日本を代表するヤマザクラの里として歴史を刻んでいる。 中でも、絶景として知られることとなった「高峯の山桜」は、平沢地区や関係団体の尽力により、地域資源・観光資源として守り育てられてきている。そして、今では、毎年、多くの観光客が訪れる場所になっており、地域と行政が一体となって里山を守り育てると共に、観光資源としてもさらに活用していなくてはならない。 以上のことから、開花時期における花見スポットやフォトスポット、また通年を通しハイカー向け周遊コースの休憩施設など、本市の固有資源を間近で体感できる多機能をもつ観覧施設を整備することにより、コロナ収束後の誘客へ繋げることを目的とする。						<ul style="list-style-type: none"> ・事業方針、施設概要の検討、決定 ・事業概要、土地賃借に係る地権者との折衝 ・施設設計図の製作委託 ・施設設置工事費の検討 ・予算措置の検討 ・施設設置の工事業務委託 					
② 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移												
① 手段 (担当者の活動内容)		④ 活動指標 (活動量を表す指標)				単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
(1)設置場所や設置物などについての調査 (2)庁内方針の検討・決定、地権者との折衝 (3)施設設置の設計図製作(4)設置工事費の検討・予算補正措置(5)施設設置の工事業務委託		施設の検討調査				式	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		施設の設計図製作				式	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		施設の設定工事				式	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)				単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
交流人口数		交流人口				人	0.00	0.00	500.00	600.00	700.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)				単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
本市の固有資源を間近で体感できる多機能をもつ観覧施設を整備することにより、コロナ収束後の誘客へ繋げることを目的とする。		施設の設定				式	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③ 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)		03年度 (実績)		04年度 (計画)		05年度 (目標)		06年度 (目標)		期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	10,571	0						
		県支出金	千円	0	0	0						
		地方債	千円	0	0	0						
		使用料・手数料	千円	0	0	0						
		その他	千円	0	0	0						
		一般財源	千円	495	1,164	0						
	事業費計(A)	千円	495	11,735	0							
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	0.00人								
03年度事業費 実績(千円)		973		10,762		04年度事業費 予算(千円)						
事業費の内訳	12 委託料											
	14 工事請負費											
	合計	973		10,762		合計						
					0							

事務事業名	山桜景観鑑賞施設検討事業	事務事業No.	40304001077	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
山々に自生する山桜は55万本ともいわれ、日本を代表する山桜の里として歴史を刻んでいる。中でも高峯の山桜は多くの観光客が訪れる場所になっており、コロナ収束後の誘客戦略の基盤となる施設整備を検討するために開始した。令和3年度に高峯見晴デッキが完成し落成式を実施した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
山桜の開花時期の花見客の対応について、花見スポット等の整備に関する一般質問も寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2次総合計画、第2部ヤマザクラと市民の幸せを咲かせるプロジェクト、4地域経済が元気なまちづくりの市の施策体系に結び付いている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 交流人口の増加や地域の賑わいを創出し、地域資源を活かす事業に繋がるため妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 景観鑑賞施設を検討し、施設を整備することで観光資源として活用が見込める。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 交流人口の増加も見込めず、本市の観光振興・地域産業の活性化に繋がらない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 山桜観覧施設事業として、検討を進めるものでコロナ収束後の誘客戦略に繋げるものである。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高峯周辺の山桜は、地域資源・観光資源としてさらに活用していくために本検討事業を実施し、令和3年度に高峯見晴デッキが完成した。																		
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性																				
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 -																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	展望デッキが整備されたことにより事業完了
<input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認